

各支部で忘年会開催

民商の各支部・班では、この時期、「やはり忘年会だろー」ってことで、いくつかの支部で忘年会が開催されているようです。ここでいくつかの支部の忘年会を紹介しましょう。

■頸南支部

11/29 会員の安原鮮魚店にて11名参加。旧新井市と妙高市を管轄する支部のため遠方の方が多く、帰りのことを考え奥さん同伴で毎年のように開催。宴席の前に消費税の学習会も忘れずに行いました。

■城北支部

11/30 上越市内昭和町を中心にして活動している支部で、16名が参加。支部長はお酒が大好きですが、



コップを前に来年の市議選に近隣地域から出馬予定の平良木元市議を招き挨拶を頂いたそうです。

■直東支部

12/6 直江津地区東部から東頸地域までを管轄とする支部で、9名が参加。支部からの要請で、宴会を始める前に「インボイス制度」の学習をしてから忘年会が始まったそうです。さぞかし美味しいお酒だったのではないのでしょうか。

■頸北支部

12/12 上越市内旧柿崎町・吉川町を中心に活躍している支部で、12名が参加。新店舗開業（屋台村）で大変忙しい中ですが、たつての頼みという



ことで岩澤会長も参加。激励の挨拶の後、諸行事の日程なども決め大いに忘年会は盛り上がったそうです。

「大腸がん検診」

今年152名の受診

例年11月末から12月上旬にかけて開催しています共済会主催の「大腸がん検診」。会員減に伴い受診者も減少傾向にありましたが、期せずして今回は昨年と同数の152名の受診者でした。目標を200名にしていたのに152名とは残念な結果ではありませんが、昨年比マイナスにならずによく踏み止まったとも言えます。

共済会員の受診率は26%と決して高くはありません。「共済会員は無料ですから、ぜひ受診してください」と受診を促している



のですが、「もう既に他でしたから...」「医者に掛かっていいるから...」「面倒だから、いいよ」と、なか

なか受診して下さいません。食生活の欧米化に伴って大腸がんは増えているのに心配じゃないのでしょうか。《備えあれば憂いなし》。大腸がん検診ばかりでなく、定期検診も大切です。せめて1年に一度くらいは健康診断を受けるようにしましょう！（上越民商では1年に1度、健康診断を受診された方に補助金を出しています。3千円以上の領収書をお持ちになれば、3千円を上限に支給しています）

台風・豪雨被災者募金

この間訴えてきた、台風15号や19号、その他の豪雨災害募金は先週締切り、支部からの募金総額 ¥79,900、事務所の募金箱 ¥2,296 と併せて全商連の募金用口座へ送金致しました。

上越民商では、隣県でもある長野県へのボランティアも組織できませんでしたので、せめて募金で何らかのお役に立てればとの思いで取り組んできました。

近年自然災害は増加傾向にありま



だく立場になるかもしれません。《お互い様》の精神で、今後も災害支援は続けていきたいと思ひます。

何はともあれ、募金に協力していただいた皆さんに感謝するとともに、送金のご報告をさせていただきます。ありがとうございました。

新春の『青旗びらき』

1月11日（土）開催
 毎年恒例の「青旗びらき」ですが、来年1月11日（土）に開催します。まだ詳細・内容につきましては未定ですが、役員さんを中心に民商会館3階ホールにお集まりいただき、春の運動の総決起の場にしたいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。



会費紙代の集金と商工新聞の配布について

今月は年末でもあり、普段の月より早めに集金をお願いしています。それと、商工新聞の配布ですが、年内は3日号で終わりです。30日号と新年1月6日号は合併号として、年内

今後の日程

- 12月27日（金） 仕事納め・大掃除
- 12月28日（土）～1月5日（日）